

總務長官より清國駐屯軍軍謀長へ回答案

清國駐屯西班牙公使より山根少将宛西國赤十字社、
 法生部、関之寫真贈其之旨依頼一義者
 馬年越之趣了承右者先般本邦駐屯西班牙公使
 より陸軍大臣宛法生部及その他、勅旨、関之
 略記及寫真令社、贈其旨依頼有之、其旨當者、
 於之五分五部、軍備部より今回、奉渡、関之標
 景、之寫真、取寄之、市中販賣、寫真
 若干、取寄、送附し、別、複製等、之致候、有
 右標、承知、成、成、中、級、及、步、回、答、候、



六九二號

十月廿

機密

井口 軍事 醫務

陸軍省 領 臨清受第一〇七號

清國駐屯 軍司令部 參 發 第一七九号

臨

臨

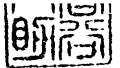
臨

五月廿四日 五月十二日

臨

別紙譯文ノ通り清國駐在西班牙公使より前司令
官ニ依頼有之前司令官より第廿師團長へ後煤美
處人今回第廿師團參謀長より西班牙公使希望ノ
諸材料ハ人今様ノ申込より既ニ陸軍省醫務局ニ
差出レタル為最早送附スル材料集之旨ノ返信ニ
接シ美執ラハ醫務局ニシテ今一依頼ノ下ニ成ル集
相成美者有之美得者論美事ニ成座美得美
若シ他ノ目的ノ為ニ成ル集相成美モ有之美
得者其字ヲ該公使ニ送附シ其希望ヲ満足セシ
度者ハ被存美間何カノ成取計煩シ度以
段及成依頼美也

機密 全一 返



度	足	交	得	蒐	巡	局	望	煤	司	号
以	七	美	共	集	二	二	ノ	美	令	号

過般未當局に於て蒐集致居材料ハ則テ
 全一、依頼、基キタルモノニシテ已、蒐集濟
 機密課、送付致候以、青市田答相成度
 醫務局衛生課
 廣務課
 0648

本種陸軍省受領
 壹第七八五號
 上運係者之也
 二五し外
 林山田

明治三十四年十一月二十三日

清國駐屯軍司令部

清國駐屯軍參謀長 恒吉 志道



陸軍總務長官中村雄次郎 殿

護啓閣下ヲ日本軍司令長官トシテ而シテ又聯邦司令
 長官中ノ最高級將官トシテ御依頼致度候
 西班牙赤十字社ハ過般以來非常ノ熱衷ヲ以テ其社建
 設ノ事業ニ依リ万国ニ関スル著書刊行ノ準備中ニ有
 之候而シテ右著書ハ大小ノ部冊トシテ專ラ發賣ス若クハ贈
 呈ノ目的ニ有之候
 該著書ハ既ニ集巻シタル多數ノ材料ニ據リ少クモ大形ノ
 六冊ヲ成リ貳千以上ノ繪画ヲ挿入可致其逸別封送
 呈ノモノヲ御判知相成度右ノ壞大利匈牙利ノ章ニ屬スル
 繪画ノ五分ノ一ニ相當スルモノニ有之候又該書ノ本文ハ西班
 牙佛蘭西・獨逸・英吉利西伊太利ノ各國語ヲ以テ泰免
 スルモノニ有之候

青洲生山堂門ノ下

洋國馬氏軍二日合音

各國公使致包圍前カ官ハ該書ノ本文在馬真若クハ
 番面ヲ西班牙赤十字社ニ送附致候然レモ在カリト府
 本社於テ昨年ノ事件ハ最モ有益ニ記事若クハ繪画ヲ供
 給シ得ベリ又該書ノ一章ヲ編成スルニ適切ナルモノ可有レ信處
 候儀ハ當然ノ事ニ御座美
 該書ノ本文ハ直隸ニ來リタル久石國兵力ノ概要ニ基ク儀ニ
 有之就中戰地病院・假野戰病院等ノ関スル件ハ
 何等ニ據テ編入スルヲ可得候カ官ハ其概要ニ付テ編纂
 ハ容易ニ事ト相考ヘ申候
 挿画ノ材料ニアツテハ 独リ好事家ノミテ久諸邦ノ古蹟等ニ
 於テモ亦多致ノ写真ヲ撮影相成候ニ被存候（其中大形ヲ撰
 擇致度美）
 挿画ノ趣旨ニ在カ之ヲニ類ニ分ケ候即チ万国及支那トナレテ

一類ノ穿真ハ老ヲ御座美

A 建設物・病院・上陸・負傷者ノ運搬・戦場ニ於ケル

治療其他陸軍衛生部若シテ赤十字社ノ救隊

又ハ職員

B 支那ニ於テ作戰シタル歐米日列國諸軍隊ノ救隊

支那人ニ就テ亦好事家若シテハ遠征隊ニ於テ其外觀

ヲ撮影シタル者有之ベリ候

A 正兵又ハ拳匪又ハ義勇兵

B 支那人ハ各科ノ事ニ能事セシメ甚ク鮮クナリト云々員

傷者若シ其運搬等ニ就テ穿真ノ撮影ヲナシタル者

有之美

斯ク閣下ノ御手教相煩ハシ甚ク恐懼ノ至リニ御座美

得共願ハル赤十字社ノ希望ハ他ノ聯合軍ノ将官又ハ司

青島生也堂門ノ下

洋國馬氏軍日記の音

令長官ニ御通知被下度候又右将官又右司
令長官ニ閣下ハ其措置ニ就テ御者怒被下旨准庸
中凡著書ノ方國書及ノ性質ヲ有ニ一視同仁ノ精神
ニアラカルナリ又兵士ノ悲哀ナル處苦ニ干聯スルニ候間怒
篤ニ御取討被下度候

右字裏ハ多数ニ可有之候ニ付其集覽ノ為ニ要ス貴
用ハ在北京当公使館ニ於テ支出可致旨ハ西班牙亦
十字社島等々會議ニ於テ許可相成居候間併テ申
進置テ矣

小官ハ閣下及以茲善事業ヲ人分擔相成可キ司
令官ニ對テ前以テ深厚具誠實ニ謝意ヲ表シ度
候致具

千九百一十一年十月十八日北京於テ

清國駐紮西班牙公使

アージェー・ド・ココガシ

(手記)

山根少将閣下

2799

審察用紙

毛馬島三美の該社名、は常印に充分適合致
 せしむるに難し計存を以共國近新原を再探
 踏里政を官右の合に上出者迄方より此は
 移之後大臣、序に依り此迄申進を致具

十月廿三日

除簿書

見積書

品	目	算	数	単	價	小	計
軍	大形	四	枚	四拾五	金	拾六	金
小形	四	枚	五拾五	金	拾六	金	

右之代價以上細可也

明治三十四年

九月

東京市葛飾區大工場字目番地
田中少太郎代理

関本安治郎



陸軍省庶務課御中



軍省 領 壹第 七八五 號

九月九日

拜啓陳者今便ヲ以テ西國赤十字社々長ヨリ別封閣下へ進達可致様且該封中御依頼趣伺奉御承諾被下候様本官ヨリモ可願上様依頼致越シ候若シ閣下ニ於テ追テ発刊ノ大著書中ニ掲載致スヘキ牒示并寫真ヲ本官手許マテ御交附被下候ハ本官ノ大幸不過之候故具千九百一年九月六日 東京ニ於テ

ルイ・ド・ラ・バルセラ

陸軍大臣男爵見玉

閣下

陸軍省 領 壹第 七八五 號

三六〇

九月九日

社々長ヨ

中御依頼

モ可願上

返ラ発刊ノ

大ラ本官手

返之候教具

ルレラ

此課関係ナシ



2802

拜啓陳者本社委員ノ計畫畫罷在候各國陸軍
ニ關スル紀念的挿画大著書編輯ノ為メ復ヒ閣下
ノ御助力ヲ蒙リ度奉懇願候

曩ニハ赤十字社ノ寫真ヲ拜受仕候處今般更
ニ別紙質問題目(答辯記入ノ上)并註記通りノ寫
真御贈與ノ程懇請仕候儀ニ有之候

此般ノ諒示并寫真ハ他各國ヨリ夫々既ニ受領
罷在候右者博愛且人道的ノ事業ニ關スル儀
ニ付今回モ何卒閣下ノ御賛成アラシコトヲ伏テ
奉希望候

國陸軍

復と閣下

今般更

通りノ寫

受領

所スル儀

ヲ伏テ

奉命國之... 紀の... 部隊... 運糧... 具...
 ... 具... 具... 具...
 ... 具... 具... 具...
 ... 具... 具... 具...

2804

陸軍省

右質問題目并寫真ハ在東京西國公使へ御交
附被下候ハ、同公使ヨリ拙者共へ送付致シ吳
レ候答ニ付右様為御取計被下度偏ニ奉
懇請候敬具

千九百一年六月廿五日

マドリニ於テ

ロミユクシ

陸軍大臣閣下

日本軍

在マドリール西國赤十字社ニ於テ繪入万国陸軍
 大著書編輯用ノ為メ各辯ヲ煩ハシ度キ質問
 題目

日本軍ノ徴兵法、
 諸團隊現役年期、
 義務兵役ナルカ、
 免役、等

陸軍省

陸軍省

日本軍ノ諸兵科即チ

歩兵騎兵砲兵（各兵科ノ）關ス

ル（各兵科ノ）細則ノ兵員ノ兵器

（編制摘要也）

軍ノ衛生部ニ關スル

畧記

日本軍ノ写真

是レ西班牙赤十字社、於テ惠恤ノ目的、
依リ當今編輯中ナル佛英、獨、西、伊ノ五
ヶ國文ニ記載スル繪入万國陸軍大著書
中ニ刊行センカ為メ日本帝國陸軍大臣閣
下ヨリ拜受センコトヲ希望スルモノナリ

- 一 正装ニ於ケル近衛騎兵ノ枝隊（中隊）
- 一 正装ニ於ケル行進中ノ歩兵
- 一 野戰勤務ニ於ケル歩兵

定

定

定

一 軍装、於ケル騎兵

一 野戦砲兵

一 要塞砲兵

一 對馬民兵（警備隊ヨリ）

一 憲兵

是等、固ヨリ全体ノ景ニシテ別々ノ寫真ニアラス

一 騎馬將官并其參謀附護衛騎兵

一 衛生部隊附其運搬具、陣具、等

若シ又 皇帝陛下ノ觀兵式ヲ行ハセ給ヘル御模様ヲ撮シ奉ルノ御場合有之候ハ、拙者共ノ大

幸^御不過之候是レ栄答ノ頁面タルヘク候多分
此尊影ハ豫テ御調製ノモノ可有之歟

刊行上ノ都合ニ依リ總テ寫真ハ○○○ノ形ニ
調製シ且一題ノ変景ニ三種ツ、有之候事必要
ニ可有之候

東京ニハ陸軍大臣閣下ノ御命令ニ從ヒ是等ノ
寫真ヲ巧ニ仕上ケ候優等ノ寫真師不尠儀
ト奉存候

陸軍省

此般ノ牒示并寫真ハ諸外國軍ヨリ夫々既ニ
受領致候

寫真ハ台紙ニ貼附セス「マクリ」ノ俣ニテ在東
京西國公使へ御交附被下候ハ、同公使ヨリ西
國赤十字社へ送附致シ吳レ候筈ニ有之候

第二類 兵役 補充 召集

○徵兵令

明治二十二年一月二十一日改正
法律第一一五號

明治二十二年十一月
法律第二九號
明治二十六年三月
法律第四號
明治二十八年三月
法律第一一五號

此ノ法律ハ明治二十八年四月一日ヨリ施行ス但現今ノ準備員ハ従前ノ職ニ依ル

朕徵兵令改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

徵兵令

第一章 總則

第一條 日本帝國臣民ニシテ滿十七歳ヨリ滿四十歳迄ノ男子ハ總テ兵役ニ服スルノ義務アルモノトス

第二條 兵役ハ分テ常備兵役後備兵役補充兵役及國民兵役トス

第三條 常備兵役ハ現役及豫備兵役ニ分ル

現役ハ陸軍ハ三箇年海軍ハ四箇年ニシテ滿二十歳ニ至リタル者之ニ服シ豫備役ハ陸軍ハ四箇年四箇月海軍ハ三箇年ニシテ現役ヲ終リタル者之ニ服ス

第四條 後備兵役ハ五箇年ニシテ常備兵役ヲ終リタル者之ニ服ス

第五條 補充兵役ハ陸軍ニ在テハ第一補充兵役第二補充兵役トシ第一補充兵役ハ七箇年四箇月ニシテ其年所要ノ現役兵員ニ超過スル者ノ中所要ノ人員之ニ服シ第二補充兵役ハ一箇年四箇月ニシテ其年所要ノ第一補充兵員ニ超過スル者之ニ服ス又海軍ニ在テハ一箇年ニシテ其年所要ノ現役兵員ニ超過スル者之ニ服ス

第六條 國民兵役ハ分テ第一國民兵役第二國民兵役トス
第一國民兵役ハ後備兵役及第一補充兵役ヲ終リタル者之ニ服シ第二國民兵役ハ常備兵役後備兵役補充兵役及第一國民兵役ニ在ラサル者之ニ服ス
第七條 各兵役ノ期限既ニ滿ルト雖モ戰時或ハ事變ニ際スルトキ若クハ臨時ニ演習或ハ觀兵ノ事アルトキ若クハ航海中或ハ外國駐劄中ハ其期ヲ延スルコトアル可シ

第八條 重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ兵役ニ服スルコトヲ許サズ

第二章 服役

第九條 陸軍現役兵及補充兵ハ毎年所要ノ人員ニ應ジ壯丁ノ身材並能職業ニ從ヒ歩兵騎兵砲兵工兵輜重兵職工及雜卒ニ區別シ抽籤ノ法ニ依テ管轄ノ者ヲ以テ之ニ充ツ

唐毅
抄

海軍現役兵及補充兵ハ毎年所要ノ人員ニ應ジ沿海地方及島嶼ノ壯丁ヲ調査シ
 海軍ニ適スル職業ニ從ヒ水兵火夫職工及雜卒ニ區別シ抽籤ノ法ニ依リ管轄ノ
 者ヲ以テ之ニ充ツ但海軍志願兵徵募規則ニ依リ服役スル者ハ本令ノ限ニ在リ
 ス

警備隊ヲ置キタル島嶼ノ壯丁^{近海諸島ニ關シテハ}ハ抽籤ノ法ニ依リ管轄ノ者ニ充テ其地ニ於
 テ服役セシム但在營期限ハ一箇年以内トス

第十條 雜卒ノ現役期限ハ其職務ニ因リ之ヲ短縮スルコトアル可シ但常備兵役
 ノ全期ハ之ヲ減スルコトナシ

第十一條 抽籤番號ノ順序ニ由リ其年ノ補充兵役所要員ニ超過スル者ハ國民兵
 役ニ服セシム

第十二條 二十歳ニ至ラズト雖モ滿十七歳以上ノ者ハ志願ニ由リ現役ニ服スル
 コトヲ得

第十三條 滿十七歳以上滿二十八歳以下ニシテ官立學校^{小学校及科校}ノ學科程度ト同等以上ト認メタル
 範學校中學校若クハ文部大臣ニ於テ中學校ノ學科程度ト同等以上ト認メタル
 學校若クハ文部大臣ノ認可ヲ經タル學則ニ依リ法律學政治學理財學ヲ教授ス
 ル私立學校ノ卒業證書ヲ所持シ若クハ陸軍試驗委員ノ試驗ニ及第シ服役中食
 料被服器具等ノ費用ヲ自辨シ豫備後備將校タル輩與テ有スル者ハ志願ニ由リ
 一箇年間陸軍現役ニ服スルコトヲ得但費用ノ全額ヲ自辨シ能ハサルノ證アル
 者ニハ其幾部ヲ官給スルコトアル可シ

一年志願兵ノ豫備役後備役年期ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

滿十七歳以上滿二十八歳以下ニシテ官立府縣立師範學校ノ卒業證書ヲ所持シ
 官立公立小學校ノ教職ニ在ル者ハ六週間陸軍現役ニ服セシム其服役ニ關スル
 費用ハ官給トス

前項ノ現役ヲ終リタル者ハ直ナニ國民兵役ニ服セシム

第三項又ハ第四項ニ依リ服役中ノ者ニシテ滿二十八歳迄ニ其教職ヲ罷ムル者
 ハ抽籤ノ法ニ依ラスシテ更ニ二箇年間陸軍現役及常例ノ豫備役後備役ニ服セ
 シム但第一項ニ依リ一年志願兵ヲ志願スル者ハ此限ニ在ラス

第十四條 禁錮ノ刑ニ處セラレ若クハ賭博犯ニ由リ懲罰ニ處セラレタル者ハ一
 年志願兵タルコトヲ許サズ

第十五條 現役中殊ニ勤務ニ熱シ品行方正ナル者ハ歸休ヲ命スルコトアル可シ

第十六條 豫備兵後備兵ハ戰時若クハ事變ニ際シ之ヲ召集ス平常ニ在テハ毎年
 六月十日以内勤務演習ノ爲メ之ヲ召集シ又毎年一度簡閱點呼ヲ爲ス

第十七條 第一補充兵及海軍補充兵ハ現役兵ノ補缺ニ充テ又戰時若クハ事變ニ際シ之ヲ召集ス但第一補充兵ヲ以テ現役兵ノ補缺ニ充ツルハ其服役ノ初年ニ限ル

第一補充兵ハ平常ニ在テ百五十日以内教育ノ爲メ之ヲ召集ス其他勤務演習及簡閱點呼ヲ爲スコト豫備兵ニ同シ

第二補充兵ハ戰時若クハ事變ニ際シ第一補充兵ヲ召集シ仍ホ兵員ヲ要スルトキ之ヲ召集ス

第十八條 國民兵ハ戰時若クハ事變ニ際シ後備兵ヲ召集シ仍ホ兵員ヲ要スルトキニ限リ之ヲ召集ス

第三章 免役延期及猶豫

第十九條 兵役ヲ免スルハ瘵疾又ハ不具等ニシテ徵兵検査規則ニ照シ兵役ニ堪ヘサル者ニ限ル

第二十條 左ニ掲クル者ハ徵集ヲ延期ス次年ニ於テ仍ホ徵集ニ適セサル者ハ國民兵役ニ服セシム

第一 體格完全且強壯ナルモ身幹未タ定尺ニ滿クサル者

第二 疾病中又ハ病後ニシテ勞役ニ堪ヘサル者

第二十一條 公權ノ剝奪若クハ停止ヲ附加ス可キ重罪ノ爲メ訊問若クハ拘留中ノ者ハ徵集ヲ延期ス

第二十二條 徵集ニ應ズルトキハ其家族自活シ能ハサルノ確證アル者ハ本人ノ願ニ由リ徵集ヲ延期ス其事故三箇年ヲ過クルモ仍ホ止マサル者ハ國民兵役ニ服セシム但分家又ハ絶家廢家再興ノ故ヲ以テ本條ニ當ル者其他自活シ能ハサル事故ヲ作爲シタル者ハ其願ヲ許可セシム

第二十三條 第十三條第一項ニ掲クル學校ニ在テ者ハ本人ノ願ニ由リ滿二十八歳迄徵集ヲ猶豫ス其事故二十八歳迄ニ止ミ又ハ二十八歳ヲ過クルモ仍ホ止マサル者ハ抽籤ノ法ニ依ラズシテ之ヲ徵集ス但第十三條第一項ニ依リ一年志願兵ヲ志願スル者ハ此限ニ在ラス

外國ニ在ル者ハ抽籤ノ法ニ依ラズシテ之ヲ徵集ス但第十三條第一項ニ依リ一年志願兵ヲ志願スル者ハ此限ニ在ラス

外國ニ在ル者ハ抽籤ノ法ニ依ラズシテ之ヲ徵集ス但第十三條第一項ニ依リ一年志願兵ヲ志願スル者ハ此限ニ在ラス

シム但第十三條第一項ニ依リ一年志願兵ヲ志願スル者ハ此限ニ在ラス

第二十四條 餘人ヲ以テ代フ可カラサル職務ヲ奉スル官吏及市町村長、助役及收入役ヲ豫備兵後備兵ニ在ルト第一補充兵ニ在ルト同ハス勤務演習簡閱點呼ノ爲メ召集スルモトナシ

法律ヲ以テ設立シタル議會ノ議員其開會中亦同シ

第四章 雜則

第二十五條 毎年一月ヨリ十二月迄ニ滿二十歳ト爲ル者ハ其年ノ一月一日ヨリ同月三十一日迄ニ又第二十三條第一項ニ當ル者ニシテ二十八歳迄ニ事故止ミ

同條第二項ニ當ル者ニシテ三十二歳迄ニ歸朝シタル者ハ十四日以内ニ書面ヲ以テハ其月主ヨリ本籍ノ市町村長ニ届出可シ但二十歳未滿ニシテ現役ヲ終ヘタル者又ハ現役中ノ者ハ本籍ノ届出ヲ爲スニ及ハス

第二十六條 徵集ハ本籍所在ノ徵募區ニ於テスルモノトス

第二十七條 疾病又ハ犯罪等ノ爲メ期限ニ際シ入營シ難キ者ハ翌年之ヲ徵集ス

第二十八條 兵役ヲ免レンカ爲メ身體ヲ毀傷シ疾病ヲ作爲シ其他詐僞ノ所爲ヲ用ヒ又ハ逃亡若クハ潛匿シタル者又ハ正當ノ事故ナク身體ノ検査ヲ受ケザル者ハ抽籤ノ法ニ依ラスシテ之ヲ徵集ス

第二十九條 服役年期ノ計算ハ現役豫備役補充役及海軍後備役ニ在テハ各其役ニ就ク年ノ十二月一日第十三條第三項ニ依リ服役スル者ノ現役年期ノ計算ハ別ニ規定スル月ヨリ起算スヨリ陸軍後備役ニ在テハ其役ニ就ク年ノ四月一日ヨリ起算ス但第七條ニ依リ延期シタルモノト雖モ服役年期ノ計算ハ延期セザル者ニ同シ

現役中禁錮ノ刑ニ處セザレ又ハ逃亡シタル者其刑期中及逃亡中ノ日數ハ現役年期ニ算入セス其豫備役年期ハ現役ヲ終ル年ヨリ起算シ陸軍ニ在テハ第六年目ノ三月三十一日迄海軍ニ在テハ第五年目ノ十一月三十日迄トス但第十條ニ依リ現役年期ヲ短縮シタルモノハ其現役ヲ短縮シタル場合ニ於ケル豫備役年期ニ應ジ本項ニ準シテ計算ス

豫備役後備役及補充役中犯罪ノ爲メ又ハ正當ノ事由ナクシテ召集ヲ缺キタル者其召集ヲ缺キタル年ハ服役年期ニ算セス

第五章 罰則

第三十條 第二十五條ノ届出ヲ爲サザル者及正當ノ事故ナク身體ノ検査ヲ受ケザル者ハ三十圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十一條 兵役ヲ免レンカ爲メ逃亡シ又ハ潛匿シ若クハ身體ヲ毀傷シ疾病ヲ作爲シ其他詐僞ノ所爲ヲ用ヒタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ三面以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第六章 附則

第三十二條 本令ハ明治二十二年一月ヨリ施行ス但第二十五條ノ届出ノ期限ハ明治二十二年三月一日ヨリ同月十五日迄トス

各兵ノ現役期限

一 各兵ノ現役期限ハ以下示スモノ、外三ヶ年トシ通常
管内ニ居住スルモノトス

二 憲兵上等兵ノ現役期限ハ前歲科役服後毎月ヲ通算
シ六ヶ年トス

三 砲兵助卒、砲兵輸卒、輜重輸卒及看護卒ノ現役
期限ハ二ヶ年四ヶ月トシ砲兵助卒ハ一ヶ年間砲兵
輸卒ハ四ヶ月間輜重輸卒ハ三ヶ月間者病卒ハ
四ヶ月間在管ノ後歸休セヨ

戦時若クハ事変ニ際スル時其他必要ノ場合ニハ

在營期限ヲ伸縮スルコトアルヘシ

四 樂手補ノ現役期限ハ樂手補ヲ命セラレタル月ヨ

リ六ヶ年トス

五 警備隊現役兵ハ一ヶ年間在營ノ後歸休セシハ

六 警備隊現役兵中上等兵タルノ技能ヲ有スル者

及上等兵者看護手ニシテ志願ノ者ハ尚ホ一ヶ年間在

營セシムルコトヲ得

七 歩騎砲工輜重兵卒者護手及他工靴工ニシテ下士タルノ技

能ヲ有スル者ハ現役満期後三ヶ年ヲ一期トシ再服役

ヲ為スコトヲ得其下士ニ任セラレタル者ハ之ヲ長期下

士トス

憲兵上等兵樂手補及警備隊縫工靴工ハ現役満期
ノ後現役定限年齢ニ滿ツル迄數次再服役ヲ為ス
ヲ得其二再服役年期ハ一ヶ年以上トス

ハ兵卒ノ現役定限年齢ハ左ノ如シ

憲兵上等兵 雜卒 職工 四十歳

歩騎砲工輜重兵卒 三十五歳

兵 官

各兵種ノ武装

一 歩兵ノ武装

歩兵ハ衣袴及脚絆ヲ着シ帽ヲ冠リ短靴ヲ穿テ銃
 剣ヲ衣ノ上ニ帯ヒ背囊ヲ負ヒ水筒及雜囊ヲ左肩
 右脇ニ掛ケ小銃ヲ携帶ス掛ケ小銃ヲ携帶ス
 背囊ノ外部ニハ外套飯盒携帶工具豫備靴ヲ附着
 シ内部ニハ所要ノ物品ヲ収容ス

二 騎兵ノ武装

騎兵ハ衣袴ヲ着シ帽ヲ冠リ長靴(拍車ヲ附着ス)ヲ穿
 テ軍刀ヲ衣ノ下ニ帯ヒ彈藥盒ヲ左肩ヨリ右脇ニ

水筒ヲ右肩ヨリ左脇ニ掛ケ負革ヲ以テ騎銃ヲ左
 肩ヨリ右脇ニ斜ニ負フ馬装ハ所要ノ乗馬具ヲ装
 シ鞍頭ノ両側ニ鞍囊ヲ鞍尾ニ外套ヲ附着シ又旅
 囊ハ鞍尾ノ両側ニ附着ス

三 野戦砲兵ノ武装

甲 野砲

砲手ハ衣袴ヲ着シ帽ヲ冠リ半長靴ヲ穿テ銃剣ヲ
 衣ノ上ニ帯ヒ水筒ヲ右肩ヨリ左脇ニ掛ケ背囊ヲ負
 フ但シ背囊ハ操砲ノ場合ニハ前車ニ附着ス
 背囊ニハ外部ニ外套飯盒豫備靴ヲ附着シ内部ニ
 所要ノ物品ヲ收容ス

馭者ハ背囊ヲ負ハス半長靴ニ拍車ヲ附着ス其
 他砲手ニ全シ輓馬ノ内服馬ハ乘馬ト等シク武装
 ニ之ニ胸革式輓具ヲ装ス驂馬ニハ驂馬鞍及驂馬
 頭絡ヲ装シ旅囊ヲ驂馬鞍ニ附着ス
 旅囊及鞍囊ニハ所要ノ物品ヲ収容ス

乙 山砲

山砲兵砲手ノ武装ハ野砲々手ニ畧同シ但シ短靴及
 脚絆ヲ穿ツヲ異ナリトス

山砲兵馭者ノ武装ハ同砲手ニ同シ

四 要塞砲兵ノ武装

要塞砲兵ノ武装ハ歩兵ニ同シ

五 工兵ノ武装

工兵ノ武装ハ步兵ニ同シ

六 輜重兵ノ武装

輜重兵ノ武装ハ略騎兵ニ同シ但シ軍刀ハ衣ノ上ニ帯
フ

輜重輸卒ハ脚絆短靴ヲ穿テ銃剣ヲ衣ノ上ニ帯ヒ
背負囊水筒及外套ヲ肩ニ掛ク

各兵種所用火器ノ種類左ノ如シ

歩兵 三十年式歩兵銃

騎兵 三十年式騎銃

野砲 三十一年式速射砲

山砲

三十一年式速射山砲

工兵

三十年式歩兵銃

輜重兵

三十年式騎銃

平戦両時ニ於テ日本軍ノ人員左表ノ如シ

陸軍省

大日本帝國陸軍衛生制度概要

甲 平時ノ陸軍衛生機関

大日本帝國陸軍衛生部、主腦ハ則チ陸軍省醫務局ニシテ軍醫總監若クハ軍醫監ヲ以テ長トシ陸軍衛生部士官以上ノ人事其他一切ノ衛生事務ヲ統理ス

醫務局ニハ衛生課及醫事課ヲ置キ一等軍醫正若クハ二等軍醫正ヲ以テ之カ長トシ課員及判任文官各若干名ヲ屬ス其他醫務局ニハ軍醫監若クハ一等軍醫正ヲ長トセル陸軍衛生會議一等軍醫正又ハ二等軍醫正ヲ長トセル陸軍々醫學校及藥

劑監ヲ長トセル衛生材料廠ヲ隸屬ス

衛生課ニ於テ掌トル事項ハ左ノ如シ

一 衛生部員ノ勤務及教育ニ関スル事項

二 衛生部ノ人員補充及士官以上ノ兵籍ニ関スル

事項

三 軍事衛生及治病上ノ審案ニ関スル事項

四 恩給診断及傷病ニ因スル除役ニ関スル事項

五 衛生報告及衛生部員學術上ノ業績ニ関スル

事項

六 軍醫學校及衛生會議ニ関スル事項

醫事課ニ於テ掌トル事項左ノ如シ

- 一 病院休養室及轉地療養所ニ関スル事項
 - 二 衛生材料ニ関スル事項
 - 三 衛生統計ニ関スル事項
 - 四 身体検査ニ関スル事項
 - 五 衛生材料廠及恤兵團體ニ関スル事項
 - 六 其ノ他醫事ニ関スル事項
- 陸軍衛生會議ハ大日本帝國陸軍ニ関スル學術上ノ問題ヲ審議スル所ニシテ其ノ議長事務官及議員ハ凡テ本職アルモノヲ以テ兼補セシム
- 陸軍々醫學校ハ學生ノ練習生徒ノ教成衛生部教科用書ノ編修若ハ撰擇兵衣兵食兵營兵器等

ノ軍陣衛生ニ関スル試験ヲ行フ所ニシテ校長ノ
下ニ副官及教官判任文官若干名アリ而シテ教官
ハ陸軍衛生部上長官士官ヲ以テ之ニ充ツ

學生ハ各部隊附ノ衛生部上長官士官ニシテ毎年春
秋二季ニ召募シ約四ヶ月間特科ヲ練習セシメ生徒
ハ醫術開業免状又ハ藥劑師免状ヲ所持シ衛生
部現役士官ニ出身志願ノ者ヲ選抜採用シ一箇
年以内教成シ卒業ノ後之ニ見習醫官ヲ命ス
ルモノトス

陸軍衛生材料廠ハ衛生材料獸醫材料ノ模範品
及衛生材料中戰用豫備品ノ製作購買貯藏交

換品質ノ審査並ニ戰時ニ於ケル材料ノ補給及外國駐屯ノ部隊ニ要スル材料ノ購買補給ヲ行フ所ニシテ廠長ノ下ニ廠員トシテ藥劑官獸醫及判任文官若干ヲ置ク

大日本帝國陸軍衛生部ハ以上ノ他近衛及各師團並ニ臺灣軍醫部アリ軍醫監若ハ一等軍醫正之カ長トシ部員及下士若干ヲ置ク

師團軍醫部長ハ師團長及醫務局長ニ隸シ師管内ノ衛生事務ヲ掌理シ衛生部員ノ教育下士以下補充等ノ事ニ任シ又動員計畫ニ基キ衛生部ノ人員材料等ノ整備ニ任ス

師團軍醫部長、監督スヘキ衛生機關ハ左ノ如シ

一 衛戍病院 各衛戍地ニ之ヲ置キ所在地陸軍

部隊ノ患者ヲ収療シ且衛生材料ノ保管供給

及衛生部下士以下ノ教育ヲ掌ル所トシ衛戍地

兵員ノ多寡ニ應シテ五等ニ區分ス其院長ハ一等

軍醫正ヨリ一等軍醫ニ至リ院長ノ下ニ軍醫

藥劑官軍吏看護長及看病人磨工等ヲ附屬

ス其員數ハ病院ノ等級ニ依テ差アリ而病院所

在地ニアル隊附醫官ハ常ニ病院勤務ニ服スル

モノトス

二 學校及隊附衛生部員 陸軍諸學校及步騎砲工輜

重ノ各隊ニハ三等軍醫正若クハ一等軍醫ヲ
 高級トシテ各若干ノ軍醫ヲ配属シ該隊患者
 ノ診断下士以下ノ身體検査種痘其他衛生
 ニ関スル事務ヲ執ラシム之カ爲高級軍醫ノ營
 理セル醫務室各一ヲ置ク但師團司令部所
 在地ノ各隊ニハ醫務室ノ附属トシテ藥室ヲ置
 ク又各學校及各隊ニハ休養室ヲ置キ一兩日
 以内ニ治癒スヘキ見込ノ輕症患者ヲ收容ス學
 校附及隊附軍醫ノ下ニハ看護長看護手若干
 ヲ附属シ軍醫ノ職務ヲ補助セシム
 臺灣軍醫部ノ掌ルヘキ事項ハ師團軍醫部ニ準ス

以上ハ則チ平時ニ於ケル衛生部勤務ノ概要ナリ

乙 戦時ノ陸軍衛生機関

戦時衛生勤務ノ概要ヲ前方戦列隊ヨリ順次ニ
後方ニ記載スレハ左ノ如シ

一 隊附衛生部員ハ隊附軍醫同看護長看護手
及若干ノ補助擔架卒ヨリ成リ戦線近キ所
ニ救護地及假繙帶所ヲ開設シ戦線ニ於ケル傷
病兵ヲ收容シ衛生隊ノ作業開始ニ至ルマテ要
急ノ處置ヲ施スヘキ任務ヲ有ス兩軍醫看
護長及看護手ハ左臂ニ赤十字徽章ヲ着ケ
補助擔架卒ハ右臂ニ赤布ヲ纏フモノトス

二 衛生隊ハ水部及擔架中隊ヨリ成リ常ニ戦闘
 隊ニ跟隨シテ運動シ戦闘隊已ニ開進シ傷
 者ヲ生スルトキハ直ニ繃帶所ヲ開設シ假
 繃帶一所ノ傷者及戦線ノ傷病者ヲ収容シ
 遷延スヘカラサル治療ヲ施シタル後之ヲ野戦
 病院ニ後送スルノ任務ヲ有ス衛生隊ノ職
 負ハ皆左臂ニ赤十字ノ徽章ヲ着ク衛生
 隊ノ職負及行李ハ獨立シテ作業ヲ開始ス
 ヘキニ半ニ分裂スルコトヲ得ルモノトス

三 野戦病院モ亦各獨立シテ作業ヲ開始シ得
 ヘキニ半部ヨリ成リ一野戦病院ニハ患者二百

人ヲ収容スヘキ材料ヲ有シ其主ナル任務ハ
 戦線又ハ綑帯所ヨリ後送セル傷病者ノ治
 療ヲ確實ニシ轉送ニ堪ヘシムルニ在リ
 右ノ外篤志看護團トシテ日本赤十字社救護
 團アリテ衛生勤務ヲ幫助ス

Tokio le 6 Septembre 1901

Monsieur le Baron

Par la malle d'hier j'ai
reçu le pli ci-joint que M^r
le Président de la Croix Rouge
espagnole me charge de
faire parvenir à Votre Excellence
en me chargeant aussi de
La prier de vouloir bien
accéder à la demande qui y
est formulée.

Je serai donc très obligé à
Votre Excellence si elle peut me
fournir pour les envoyer en
Espagne les données et photographies

Son Excellence

Monsieur le Baron Kodama

Ministre de la Guerre

qu'on désire reproduire dans
l'ouvrage qui doit être publié
bientôt et en remerciant
d'avance Votre Excellence je
sais cette occasion pour Lui
présenter les assurances de ma
plus haute considération.

Luis de la Bodega



ASSEMBLÉE SUPRÊME

DE LA

CROIX-ROUGE ESPAGNOLE

SECOURS AUX MILITAIRES BLESSÉS ET MALADES
et aux victimes des calamités et sinistres publics

Présidence

Madrid, le 25 Juin 1901
1, Plaza del Progreso, 1.

Son Excellence
le Ministre de la Guerre

Tokio

Monsieur le Ministre,

J'ai l'honneur de faire
appel de nouveau à votre exquise bien-
veillance et à votre courtoisie bien connue,
en faveur de la grande publication illustrée
et monumentale que prépare notre Comité
sur les Armées de tous les pays.

Précédemment nous
avons déjà reçu des photographies de
la Croix-Rouge, et aujourd'hui nous
venons solliciter de votre bonté l'envoi
du questionnaire ci-joint, rempli, et
des photographies originales indiquées
sur la liste également ci-jointe.

Comme nous possédons

2837

アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp/>

déjà des données et collections semblables
de tous les autres pays et qu'il s'agit
d'une œuvre philanthropique et
d'une haute signification humanitaire,
nous osons espérer que cette fois encore
vous voudrez bien nous accorder
votre gracieuse et efficace coopéra-
-tion.

Nous nous prions de remettre
le questionnaire et les photographies
à M. le Ministre d'Espagne à
Tokio, qui aura la bonté de nous les
faire parvenir.

Veillez agréer, Monsieur
le Ministre, avec tous nos remer-
-ciements anticipés, l'assurance de
notre haute et particulièrement dis-
-tinguée considération.



Ignacio I. Iriarte
Romero.



ASSEMBLÉE SUPRÊME
DE LA

CROIX-ROUGE ESPAGNOLE

SECOURS AUX MILITAIRES BLESSÉS ET MALADES
et aux victimes des calamités et sinistres publics

Présidence

Madrid

1, Plaza del Progreso, 1.

Armée Japonaise

Questionnaire que la Croix-Rouge Espagnole, à Madrid, serait heureuse de recevoir, rempli, pour le service de sa grande publication illustrée militaire internationale.

Mode de recrutement de l'armée japonaise - Durée du service dans les différents corps. - Service obligatoire? - Exemptions etc...

2839

アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp/>

Détails sur les différentes
armes de l'armée japonaise ;
infanterie, cavalerie, artillerie
- Effectif - Armement -

Notes sur le service sanitaire
de l'armée. —

2841



ASSEMBLÉE SUPRÊME

DE LA

GROIX-ROUGE ESPAGNOLE

SECOURS AUX MILITAIRES BLESSÉS ET MALADES
et aux victimes des calamités et sinistres publics

Présidence

Madrid

1, Plaza del Progreso, 1.

Photographies
de l'Armée Japonaise ~

inédites, que la Croix-Rouge Espagnole serait
heureuse de recevoir de la part de Sa Excellence
le Ministre de la Guerre de l'Empire du
Japon, pour les publier dans le grand ouvrage
militaire international illustré, actuellement
en préparation dans un but de bienfaisance
et qui sera édité en français, anglais, allemand,
espagnol et italien.

Détachement (Escadron) de cavalerie de
la Garde Impériale, en grande
tenue.

Infanterie en marche, grande tenue

Infanterie en campagne

Cavalerie en tenue de campagne

Artillerie de campagne

Artillerie de forteresse

Milice de Esoukima

Gendarmerie

アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp/>

naturellement de vues d'ensemble et non pas
de types isolés.

_____ Général et son Etat Major, à cheval
avec escorte de cavalerie

_____ Groupes sanitaires avec leur matériel
de transport, campement, etc.

Il y avait aussi une occasion
pour photographier Sa Majesté
l'Empereur passant une revue des
troupes, nous en serions très heureux.
Cela serait la page d'honneur. Peut-
être cette photographie existe-t-elle
déjà, faite antérieurement ?

_____ Pour les besoins de la
publication, il serait utile que les
photographies fussent faites dans
le format de

30 x 40 Centimètres
et qu'il y eût plusieurs (2 ou 3)
vues de chaque sujet, différentes

Il existe à Tokio
d'excellents photographes qui, sur
l'ordre de Son Excellence le

Ministre de la Guerre feraient
admirablement ce travail.

Nous avons déjà des données et
illustrations semblables de toutes les
autres armées.

Les photographies, qu'il est
préférable de ne pas coller sur
carton, peuvent être remises en
feuilles à M. le Ministre d'Espagne
à Tokio, qui se chargera de les
faire parvenir à la Croix-Rouge
Espagnole.

